

全国保健師長会

群馬県支部

五二つうしん

令和7年度 第1号



発行日

令和7年8月25日

支部長 高原 きよ美

1 群馬県支部長あいさつ

支部長 高原 きよ美

日頃より、全国保健師長会の活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。今年度より群馬県支部長を務めさせていただくこととなりました。微力ではございますが、会の発展に向けて尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

現在、私たちを取り巻く社会は、少子高齢化や人口減少、単身世帯の増加、そして新型コロナウイルス感染症による地域のつながりの希薄化など、複雑かつ多様な課題に直面しています。こうした状況の中で、保健師には、地域の保健・医療・介護体制の構築に向けて、関係機関や多職種との連携を図りながら、地域の健康課題に応じた柔軟な対応が求められています。

このような社会の変化に対応し、継続的かつ効果的な保健活動を展開するため、国では「2040 年を見据えた地域における保健師の保健活動のあり方に関する検討会」が開催され、保健師活動指針の見直しが進められています。

また、地域において保健師がその役割を十分に果たしていくためには、保健師の確保と育成が極めて重要です。特に人材育成においては、中堅期保健師の不足や統括保健師の育成・支援体制の構築が喫緊の課題となっています。OJT やジョブローテーションの活用、現任教育の充実、保健師の役割や魅力の発信など、従来の枠組みにとらわれない新たな取り組みが求められています。

当支部では、こうした課題に対応するため、人材育成をテーマにした研修会の開催や県、市町村の人材育成の取組発表、グループワーク等により現状や課題、今後の方策等を共有することで、共に育ち合える職場づくりの推進に取り組んでいます。

今後も、会員の皆さまのご意見を伺いながら、情報交換や連携、自己研鑽の機会となるような支部活動を展開してまいりますので、引き続き、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

2 令和7年度支部総会が開催されました

6月7日（土）ぐんま男女共同参画センターにおいて、開催されました。

38名の会員の皆様に、ご参加いただきました。

♪令和7年度会員数は 90 名です

今年度の会員数は、市町村 35 名、中核市 37 名、県 18 名で 90 名です。



総会員数はほぼ横ばいですが、今年度新たに加入された方もいらっしゃいますので、本会の魅力を高められるよう努力していきたいと思います。

未加入の方がお近くにいらっしゃいましたら、是非お声をかけをよろしくお願いします。

♪令和7年度群馬県支部役員 今年度も、よろしくお願いします

支 部 長	高 原	きよ美（富岡保健福祉事務所）
副支部長	堀 越	恭子（伊勢崎市）
書 記	野 本	涼子（前橋市）
会 計	大 川	洋子（高崎市）
監 事	牛 込	久美子（渋川保健福祉事務所）



♪令和7年度全国保健師長会役員

広報委員	土 屋	信子（高崎市）
------	-----	---------

3 令和7年度第1回研修会について

① 「組織横断的な保健活動の推進～統括的役割を担う保健師を中心とした体制づくり～」

実践報告	「国の動向を中心に」	県医務課補佐（看護係長）入澤 美幸氏
	「前橋市統括保健師の活動」	前橋市健康増進課長 関沼 恭美氏

② 情報交換（グループワーク）

「組織横断的な保健活動についての現状、取り組みたいこと等」



【感想】 令和 7 年度全国保健師長会群馬県支部研修会に参加して

市町村保健師

令和 7 年 6 月 7 日（土）全国保健師長会群馬県支部総会及び研修会に参加しました。

「組織横断的な保健活動の推進～統括的役割を担う保健師を中心とした体制づくり～」について、県と前橋市から実践報告がありました。

その中で、統括的な役割を担う保健師に求められる能力とその育成が必要なことや保健師の人材育成、技術面での指導、保健活動の総合的な調整を行うことなど統括保健師に求められていることを学びました。

また、統括保健師に求められる能力について、具体的には、保健、医療、福祉、介護等の多様な分野との総合的な調整や組織内での合意形成を図るとともに、組織内外の関係者とのネットワークやと効果的な協働体制を構築することができるように、保健師活動を総合的に推進する力が必要とされており、多くの機関と調整できる能力を身につけることが大切であると感じました。

前橋市からの実践報告の具体的な活動内容の中では、保健師の総括、健康危機管理の総括、救護業務関係の調整業務など担っており、役割の大きさを感じました。

グループワークの中では、統括保健師がいることで保健師の仕事がやりやすくなるなど情報交換をして大変参考になりました。ありがとうございました。

【感想】 令和 7 年度全国保健師長会群馬県支部研修会に参加して

県保健福祉事務所保健師

組織横断的な保健活動の推進～統括的役割を担う保健師を中心とした体制づくり～をテーマに 2 名の講師から講話がありました。県医務課入澤氏からは国の動向を中心に、統括保健師の役割、配置状況、配置による効果等について、前橋市の関沼氏からは前橋市統括保健師の実際の活動について御説明いただきました。

その後グループワークで、それぞれの自治体の統括保健師の配置状況等情報交換しました。統括保健師を配置することで、保健師全体を俯瞰的に見ることができる、研修参加や業務がしやすくなる等のメリットがあることが挙げられました。設置のためには事務職からも理解を得ることが必要、県と一緒に働きかけができるとよいなどの意見が挙げられました。統括保健師の設置はされていないけれども、取りまとめ役の存在、部署を超えた集いがあるという自治体もありました。

統括保健師、またはその立場にあたる保健師の役割を推進していくためには、それ以外の保健師も他の部署の業務や、人材育成の課題等を相互理解し全体で共有して、今後の取組の方向性を一緒に考え、支えていく体制も大切なのではないかと感じました。



4 北関東・甲信越ブロック研修会

今年度は茨城県支部が主催となります（通知送付済）。

①日 時：令和7年10月25日（土）13:00～16:30

②場 所：イーアスホール（つくば市内）（集合型100名程度）

＋後日オンデマンド配信（全国保健師長会ホームページに掲載予定）

③テーマ：「未来を紡ぐ統括力と公衆衛生看護活動の実践」

④申込み：当日参加をご希望の方は開催通知に添付されている「研修参加申込書」にご記入の上、
高原宛にメールで送信してください。 申込み〆切り 9月24日（水）

5 令和7年度全国保健師長会代議員総会・研修会

令和7年11月15日（土）徳島県にて、ハイブリット形式（現地／YouTube）で実施されます。
詳細は全国保健師長会HPに開催要領が掲示されますので、御確認いただき、ぜひ御参加ください。

6 第2回県支部研修会

以下のとおり予定しています。別途通知をお送りいたしますので、ぜひ御参加ください。

近年頻発する災害に備え、避難所や避難生活の衛生対策を学びましょう。

① 日 時：令和8年1月24日（土） 13時30分～15時30分

② 会 場：ぐんま男女共同参画センター大研修室

③ テーマ：「災害時の避難所・避難生活の衛生・感染症対策」（仮）

④ 講 師： オフィス環監未来塾 中臣 昌広先生

全国保健師長会のHPでも災害時の衛生対策について様々な情報発信をされています。
避難生活の支援に役立つ最新情報や感染症対策などについて御講義いただきます。

